

ふるさと納税から商品開発へ ～挑戦する若手農家たち～

関東平野のほぼ中央、豊かな土壌と温暖な気候に恵まれた境町。
境町の農家さんは、「おいしい野菜や果物を寄付者のみなさまへ届けたい」という熱い想いで、
返礼品である農作物を愛情込めて育ててくれています。
そんな農家さんの新しい挑戦をご紹介します。



「お米のジェラート」牛乳や卵を使わない ライスジェラート

「株式会社フェルミエ・オネット」

若手農家5人で立ち上げた「株式会社フェルミエ・オネット」では、欧米で第3のミルクと言われるライスマルクを使用したジェラートを開発。

原材料のお米だけでなく、牛乳や卵を一切使わず野菜やてんさい糖などを使用した無添加ジェラートで、何度も試作を重ね、「一番美味しい時期の農産物の味を知ってもらいたい。」という想いを貫いた自信の一品です。

「フェルミエ・オネット」とは、フランス語で「正直な農家」という意味。日々、作物に真剣に向き合い、自らの手で育てている彼らだからこそ、言える言葉です。

境町唯一のいちご農家。 「手作りヘルシージェラート」

いちごマルシェ la fragola

いちご農家5年目。仕事の縁で触れた農家の心に魅了され、いちご農家に転身した若きご夫婦がヘルシー手作りジェラートに挑戦。きっかけはふるさと納税でした。

思うように出荷ができなかった1年目。2、3年目にはいちごが育つ土の環境が整い、4、5年目になって安定した出荷ができるようになりました。

ふるさと納税への出品がはじまり、「美味しい」と言ってくださるファンが地元から全国に広がり、念願のジェラート製造に踏み出すきっかけを与えてくれました。ご夫婦のジェラートは、甘みと酸味のバランスが取れた後引く美味しさが魅力であり、お二人の笑顔が込められた一品です。



みなさまの寄附に支えられ、また勇気づけられて、農家さんたちが新たな挑戦に挑んでいます。
ふるさと納税から始まった自慢の一品たちで、熱い想いを感じてください。

境町では、ふるさと納税を活用した 被災地支援をしています

1 迅速な代理寄付対応「広島県」 「岡山県倉敷市」「北海道厚真町」 「佐賀県みやき町・武雄市・大町町」 「東京都新島村」

橋本町長の発案で代理寄付の輪が全国に広がっています

被災した自治体に代わって、寄付の受付や納税証明書などの書類の発行を他の自治体が代行。平成28年4月に発生した熊本地震の際に橋本町長の発案により、㈱トラストバンクとの連携で新たな被災地支援として初めて実施され、現在では代理寄付による支援が自治体間で広がっています。
境町では、2018年7月、9月の災害では、いち早く代理寄付を開始し、集まった災害支援金を各自治体へ直接出向き贈呈しました。
2019年8月の九州北部豪雨では、友好都市である佐賀県みやき町及び同県武雄市と同県大町町へ代理寄付を8月29日より開始、2019年9月の台風15号災害では、東京都新島村へ代理寄付を9月14日より開始しました。

2 被災地応援パートナーシップで 支援金 635 万 8,839 円

平成30年7月10日～8月31日までの期間内でふるさと納税の寄付金額の3%を支援金として、㈱トラストバンク経由で被災地に分配しました。被災地応援パートナーシップでは、返礼品を受け取れて、同時に寄付を行うことも出来る仕組みです。

3 クラウドファンディングで 資金を集めて被災者を支援

GCF
ガバメントクラウドファンディング(GCF)とは、地方自治体がプロジェクト実行者としてインターネットを通して世の中に呼びかけ、共感した人から資金を募る仕組みです。町では、平成30年度7月豪雨災害を受けて、ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」でGCFを活用した災害支援を行っています。

平成30年7月豪雨災害支援
岡山県倉敷市
1億4,548万5,901円



平成30年11月21日、伊藤倉敷市長(右二人目)に目録を贈呈する橋本町長

平成30年9月北海道胆振東部地震災害支援
北海道安平町
GCF モバイル型住宅ユニット
無償貸し出しで営農を助けたい



自宅を失い営農が困難となった北海道安平町の牧畜・酪農・ハウス栽培農家に、モバイル型住宅ユニットを2年間無償で設置・レンタルする事業の資金をGCFで募集しました。

平成30年9月北海道胆振東部地震災害支援
北海道厚真町
6,974万7,882円



平成30年11月6日、宮坂厚真町長から感謝状を受け取る橋本町長

平成30年7月豪雨災害支援
広島県
7,057万5,193円



平成30年11月21日、湯崎広島県知事に目録を贈呈する橋本町長

GCF 宿泊用コンテナ
7台を倉敷市へ



町が災害用として購入していた、様式の異なるコンテナ3台及び大型の宿泊用コンテナ4台を倉敷市へ輸送する資金を集め、避難所に設置しました。

GCF 被災地に「授乳服」を届けたい



避難所生活を過ごす乳児とお母さんへの支援として岡山県倉敷市に授乳服と授乳用ブラジャーを届けました。



GCF 子どもたちに放課後
自習室を届けたい



避難生活をしている子供たちが、放課後にのびのびと自由に遊び自習が出来るモバイル型仮設集会所を北海道厚真町の小学校敷地内に設置(写真左下)しています。

令和元年9月台風15号災害支援
千葉県多古町

TOPICS 停電の続く被災地に
暖かいシャワーを届けたい



台風15号の暴風被害により、停電と断水が続く千葉県多古町の避難所に9月16日より「循環式シャワーパッケージ」(写真左上)及び発電機2セット無償提供と職員2名の派遣、9月17日からは非常用電源として活用できる「水素カーMIRAI」(写真左下)を派遣し、被災地での入浴支援を始めました。